

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2021年 第21週（5月24日～5月30日）

## 今週のコメント

～新しい生活様式の実践～ 手洗い、マスク着用、身体的距離の確保、密閉・密集・密接の回避が重要

### 定点把握感染症

「RSウイルス感染症 過去最高の報告数」

第21週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,974例であり、前週比19.6%増であった。定点あたり報告数の第1位はRSウイルス感染症で以下、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、突発性発しんの順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.03、3.36、0.76、0.41、0.38であった。

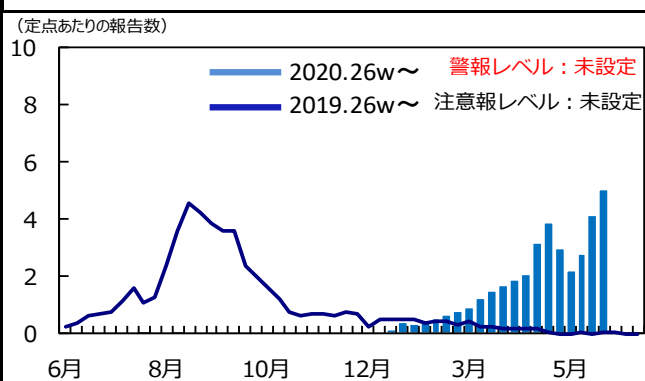
RSウイルス感染症は前週比22%増の976例で、南河内9.63、大阪市西部8.90、大阪市南部8.17、北河内6.40、三島5.18であり、2012年以降、最も多かった2019年のピーク（第37週）の報告数を上回った。

感染性胃腸炎は前週比13%増の652例で、南河内6.56、泉州6.16、大阪市南部4.56であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比44%増の147例で、中河内2.10、大阪市南部1.78、南河内0.81である。

咽頭結膜熱は前週比46%増の79例で、大阪市東部0.79、南河内0.63、大阪市南部0.61であった。

RSウイルス感染症



感染性胃腸炎

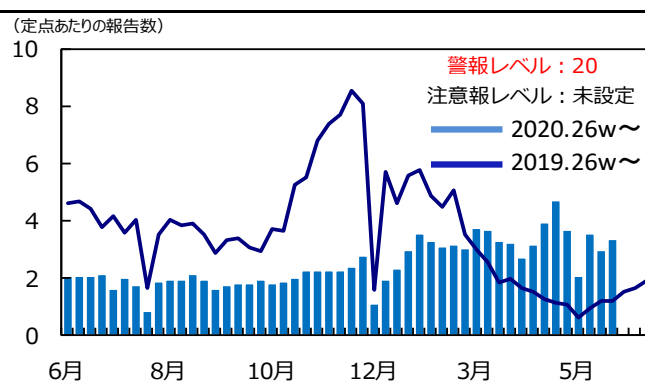


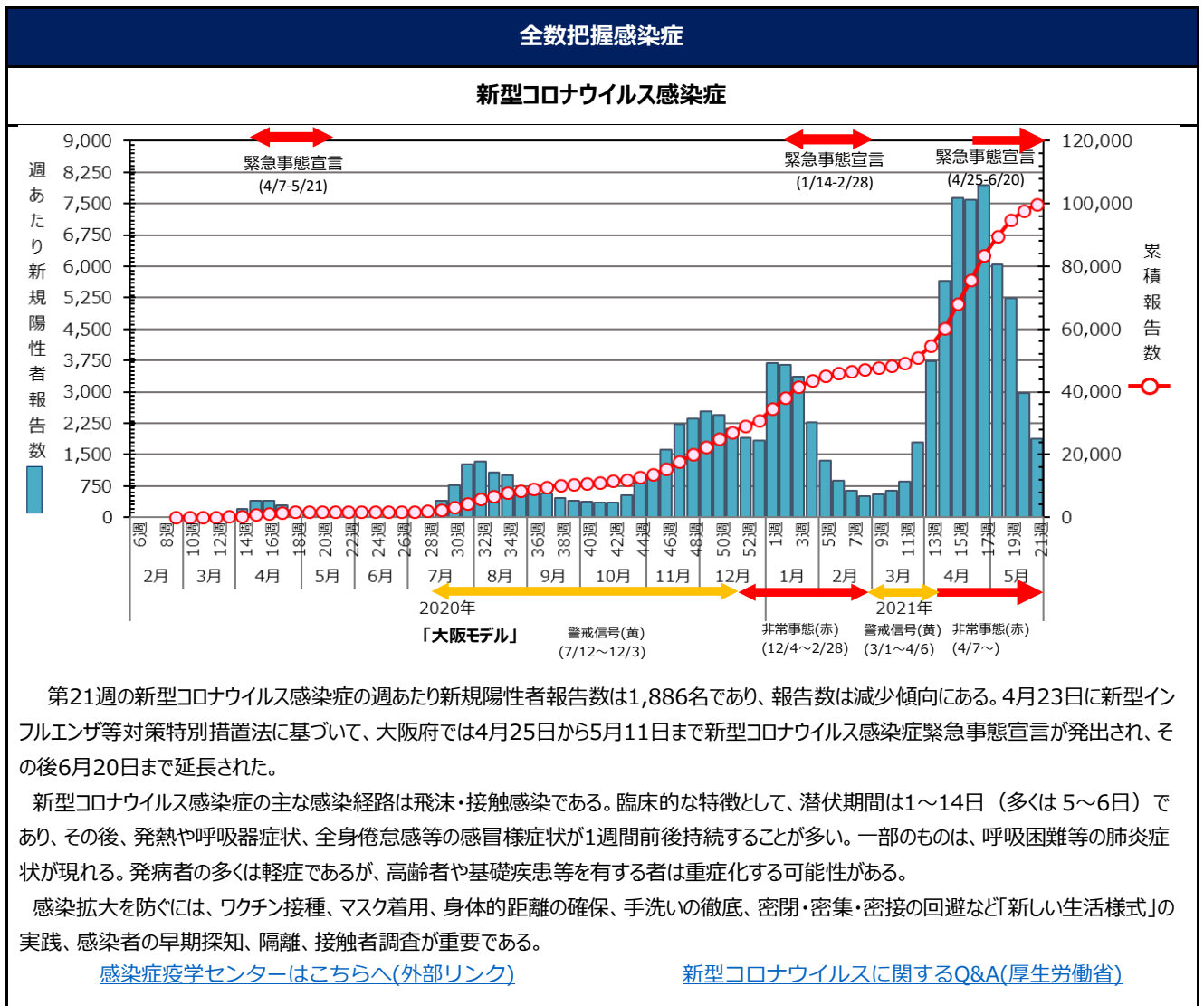
表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2021年 第21週5月24日～5月30日）

第21週の順位	第20週の順位	感染症	2021年 第21週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2020年 第21週の 定点あたり 報告数	2021年第21週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	RSウイルス感染症	5.03	22%増	0.00	2歳_29%
2	2	感染性胃腸炎	3.36	13%増	1.20	1歳_19%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.76	44%増	0.27	2歳_17%
4	5	咽頭結膜熱	0.41	46%増	0.05	1歳_56%
5	4	突発性発しん	0.38	9%増	0.34	1歳_53%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2021年第10週まででインフルエンザのコメントを終了しました。

## 第21週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防の徹底を  
(マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避)



**表 2. 大阪府全数報告数（2021年 第21週5月24日～5月30日）**

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります  
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査＞全数報告 をご覧ください。)

	疾患名 ( ) 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4					2	1		1	32
4類感染症	レジオネラ症 (ポンティアック熱型)	1								1	23
	レジオネラ症 (肺炎型)	1								1	
5類感染症	ウイルス性肝炎	1					1				4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	1					1	1	1	60
	後天性免疫不全症候群	1								1	28
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	1							1	40
	梅毒	2			1					1	254
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1,886									99,621
結核 (2021年3月分)	結核 新登録患者数：71名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 26名) (府内累積報告数 229名、内 肺・喀痰塗抹陽性 76名)										

(2021年6月1日 集計)